

高岡隆心師肖像画

本学総合学術機構課長 木下浩良

図書館閲覧室の展示コーナーでは、所蔵の3点の肖像画を展覧しています。その中でも、彩色で鮮やかな肖像画が、本学初代学長であった高岡隆心師の油絵の肖像画です。旧制大学以降の、本学歴代学長の肖像画は学内の第3会議室に並んでいますが、そこにある高岡師の画像は、実は図書館所蔵の同油絵から模写されたものです。

本学は、大正15年(1926)4月2日、それまでの専門学校から旧制大学に昇格しました。全国では37番目にできた大学で、関西では同志社・龍谷・大谷・立命館・関西大学次いで、6番目にできた私立大学でした。この当時は、帝国大学5大学、官公立大学10大学、私立大学21大学の都合36大学の時代でした。高野山大学生は「東の東大、西の高大」、「東の赤門、西の黒門」と言って自負していました。黒門とは、本学にかつてあった正門のことです。

高岡隆心師は高野山明王院主でした。明治22年(1889)、本学の前身の古義大学林の全課程の9級全科卒業の後、現在の大学院に相当する同学林学事精錬所を終えて、本学の教授になられた碩学でした。現在の図書館建設には25万円もの資金が必要でしたが、その時は自らが先頭に立って高野山内寺院を勧募に巡られました。高岡師の顔を見るなり何も言わずに1万円ものご寄付を下さった寺院もあり、瞬く間に17万円もの基金が集まりました。これにより、建設当時には東洋一と称された図書館が昭和4年(1929)完成します。

高岡師は、明治33年(1900)本学が現在の種智院大学と統合されて廃校となる危機の時、「学山高野に大学なかるべからざる」のスローガンを打ち出して、存続に尽力された愛校心溢れる大徳でした。この時、高岡師は東寺長者より、真言宗僧侶の教師資格を剥奪されています。大正11年(1922)寺務検校法印昇進。昭和9年(1934)古義真言宗管長・金剛峯寺座主に就任されました。昭和14年(1939)日中戦争中の北支を慰問、満洲国皇帝に謁見。高野山へ帰山後に発病され、同年10月19日遷化なされました。享年74歳でした。



高野山大学図書館 開館 120 周年記念 講演会を開催



2018年 12月開館予定表						
日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30	31					

2019年 1月開館予定表						
日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30	31		

	9:00-20:00		9:00-17:00
	休館日		13:00-20:00
	13:00-19:00		9:00-19:00



竹村牧男先生

11月25日(日曜日)当館開館120周年を記念し、東洋大学学長の竹村牧男先生を講師にお迎えして、講演会を開催致しました。

演題は「即身成仏ということ」。

会場は本学201号教室で、第一部が竹村先生の講演(10時~10時50分)、第二部が竹村先生と当館の前谷彰館長との対談(11時~11時30分)。当日は学内外より、70名の聴衆の参集をいただきました。



前谷 彰先生

特集 竹村牧男先生

当館開館120周年記念講演会に講師としてお招き致しました、竹村牧男先生の著書を図書館閲覧室に開架しています。ぜひ、手に取ってご覧ください。



開架図書紹介



井上円了：その哲学・思想

請求記号：716/イ/16 登録番号：0001659271

『成唯識論』を読む

請求記号：233/シ/22 登録番号：000125779

心とは何か：仏教の探究に学ぶ

請求記号：207/コ/17 登録番号：000164407

発行所

〒648-0280

和歌山県伊都郡高野町

高野山 385

高野山大学 図書館閲覧室

TEL：0736-56-3835

FAX：0736-56-5590

E-mail

service-lib@koyasan-u.ac.jp

twitter：@koyasanlib

平成30年度 第1回 図書館茶話会



来る12月19日(水)17時から17時30分、当館閲覧室において、本学裏千家茶道部主催、当館後援の図書館茶話会を開催致します。皆様のお越しをお待ち申し上げます。